若木小学校いじめ防止アクションプラン

きめ細やかな児童指導

いじめを許さない、居がいのある学級づくり

- 健康観察の徹底と報告(養護教諭との連携) 理由の把握、連絡、家庭訪問
- 生活目標とみんなの約束を活用した規律づくり
- ・帰属意識の高い学級づくり 全員が主役、一人一人を大切にした教室環境
- ワクワクタイムを利用した週1回の昼休みクラス全員の外遊び
- ・QU検査の有効的な活用した居心地のよい学 級づくり
- 帰りの会でのよいところの発表
- 教育相談週間、健康チェック、悩みごとアンケート、あのねポストの活用
- 道徳科の授業をとおしての「思いやりの心」 の育成
- ・話し合い活動の充実

分かる授業・魅力ある授業 教育活動の充実によるいじめの未然防止

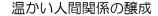
分かった、できたと実感できる授業づくり

自信をもたせる授業 友だち同士の関わり合いを大切にした 対話のある授業 個に応じた指導の充実

- 表現力の育成 自ら考えられる子どもの育成 考えを表現できる子どもの育成 (いじめの観衆や傍観者もいじめはよく ないと表現できる力)
- 話し方、聴き方のルールづくり 安心して話せる雰囲気づくり

いじめロ、欠席ロ あいうえお学校の実現

あかるいあいさつ いきいき活動 うつくしく えがおがいっぱい おもいやり ____



いじめゼロサミットを生かした取り組みから

特別活動を生かした児童主体の啓発・活動

- *6年生による「足あとを残そうプロジェクト」 からのアイディアを活用
- いじめゼロ集会(いじめゼロサミット)
- ・おやま子どもいじめゼロ宣言の唱和
- なかよしグループ(異年齢集団)によるなかよし共遊
- ありがとうの木を活用した全校による認め合い
- あいさつ運動の展開
- ・ 工夫した児童集会の実施
- 人権週間や人権集会での人権感覚の向上
- ・小中一貫教育における交流活動
- ・自己実現ができる学校行事の実施

危機管理体制と諸機関との連携

- ・危機管理マニュアルの熟知 早期発見・早期対応 教職員間の迅速な報告・連絡・相談・確認 等
- ・いじめに対する教職員の意識高揚 「いじめ問題におけるチェックポイント」 を活用。意図的、定期的な共通理解の場 の設定。(子どもを見る目、気づく力)
- ・週に1度の情報交換と定期的な児童指導 支援委員会の開催
- 関係諸機関との連携 SC、SSW、青少年相談室など
- 保護者との連携 信頼関係の構築 情報提供及び啓発